



ダンスで人々を魅了

2月7日(火)、3月1日(水)

2月7日、清洲MDA講師の石原弘恵氏が、活発な芸術創造活動を行う方などに授与される「名古屋市芸術奨励賞」の受賞報告に市役所を訪れました。

石原氏は、振付師や踊り手としての意欲的な創作活動の一方で、高校や大学などでダンスの指導や幼稚園児が対象のダンス指導を行っており、今後もさらなる活躍が期待されています。

また、清洲MDAの会員でもあり至学館高校ダンス部に所属する市内在住者の奥村紗帆さん、野田優花さん、高橋さくらさん、小野木愛さんの4名は、3月31日・4月1日にアメリカで開催される国際ダンス大会に出場します。3月1日、大会の出場報告に永田市長を表敬訪問しました。



受賞された石原氏(左)



(左から)石原氏、高橋さん、野田さん、奥村さん、永田市長



本町保育園でのそり遊び



大きな雪の滑り台におおはしゃぎ

2月14日(火)

地域の建設業者等で構成される「市防災協力会」の皆さんにより、本町保育園とゆうあいこども園に雪のプレゼントがありました。この雪は、新潟県妙高市から運ばれ、防災協力会の皆さんによって、大きな滑り台が作成されました。

園児たちが、上手にそりに乗って滑ると、明るい笑顔と歓声があふれました。



クロガネモチで卒業記念品を作成

2月17日(金)

西枇杷島小学校の6年生が、校庭にあるクロガネモチの樹で草木染を行い、卒業記念品を作成しました。

開校当時から児童を見守ってきたクロガネモチは、学校のシンボルとなっています。さまざまなオリジナルの絞り模様を施した草木染を見て、卒業後も学校生活を思い出してくれることでしょう。



草木染を行った6年生



内中学生がトルコ・シリア地震の募金活動

2月下旬



JR枇杷島駅での募金活動
(写真提供:西枇杷島中学校)

西枇杷島中学校では、生徒たちがトルコ・シリア地震の被害を知り、「校内だけでなく、校外でも募金活動をしたい」というアイデアが出され、JR枇杷島駅で募金活動を行いました。生徒会副会長の西田百花さんは、「たくさんの方にご協力いただき、とても心が温まりました。今後も、本校の合言葉である『自律』に向け、さまざまな活動に意欲的に取り組んでいきたいです。」と語ってくれました。

また、清洲中学校及び新川中学校でも、生徒会メンバーが中心となり校内で募金活動を行いました。集められた寄付金は、関係機関を通じて現地に届けられます。



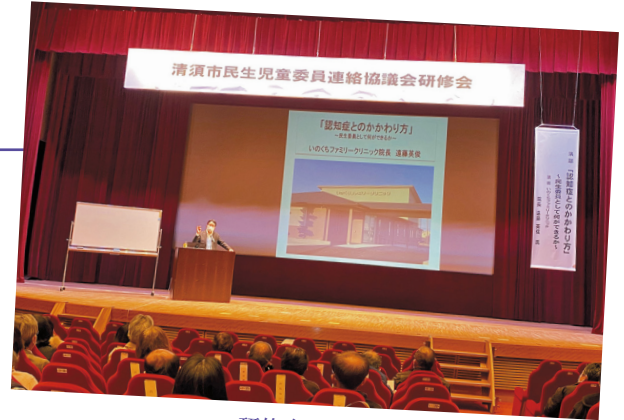
民生児童委員連絡協議会研修会

2月24日(金)

市内の民生委員・児童委員が一同に会し、研修会を開催しました。

稲沢市にある「いのちファミリークリニック」の遠藤英俊院長から、「認知症とのかかわり方～民生委員として何ができるか～」を学びました。

地域の見守りに役立てようと、貴重な先生のお話に熱心に耳を傾け、メモをとっていました。



研修会の様子



西枇杷島中学校



卒業おめでとうございます

3月7日(火)

市内の各中学校で卒業式が行われました。新型コロナウイルスの影響を受け続けた3年間でしたが、卒業生は、お世話になった先生や保護者に見守られ、大きく成長した姿で感謝の言葉を贈りました。

中学校での思い出を胸に、新たな一歩を踏み出しました。



清洲公園に苗木を植樹

3月15日(水)

「名古屋清須ロータリークラブ」から、ソメイヨシノの苗木5本を寄贈していただき、清洲公園に植樹しました。

ロータリークラブの皆さんは、さまざまな社会貢献活動の一環として、地域の人々、清須を訪れる人々に潤いと安らぎを与えられればと苗木を寄贈してくださいました。



植樹するロータリークラブの方々と永田市長



リニューアルしたプール



カルチバ新川プール リニューアルオープン

4月1日(土)

大規模改修に伴い、休館していたカルチバ新川プールが、いよいよ4月1日からリニューアルオープンします。

きれいになったプールをぜひご利用ください。皆さまのご来場をお待ちしています。